

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名		職員給与と支給事務(下水道事業)				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	水道局	課長名	久留 伸二
	施策	10	水環境の保全			所属課	上下水道課	担当者名	主幹 緒田 友一
	基本事業	28	水質の浄化			所属班	庶務料金班	(内線)	1162
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	地方公営企業法、地方自治法、下水道条例	
		下水	1	1	2	10211 他		成果優先度評価結果	
								コスト削減優先度評価結果	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	下水道特別会計のうち、下水道事業に要する職員給与と支給に関する事務である。健全な下水道経営を維持し、使用料の適切な原価把握を行うため、維持管理費にかかる人件費を明らかに区分し整理してきた。また、計画的に下水道事業の整備促進を図り、国庫補助金対象としての事業実施や起債事業としての整備、及び市単独で行う整備、建設を進めるため、事業を推進する経費に係る人件費を明らかに区分し整理してきた。合併により、施設管理の一元化及び施設の整備拡充に伴い管理施設は増大しているが、性能を保持できる管理業務委託の能力向上により、維持管理に要する職員数は2名としている。また、計画区域の広がりや新たな施設の整備拡充、及び民間活力を活かした開発等による下水道整備への指導・助言の増加など事業内容は複雑化・高度化しているが、建設事業に要する職員数は10人(課長を含む。)としている。
【業務の流れ】	下水道事業に要する職員(12人)に対する給料及び各種手当に関し、必要な予算の算定、執行を行う。給料(毎月21日支給)、期末勤労手当(6月30日、12月10日支給)
【主な予算費目】	給料、職員手当(期末勤労手当、扶養手当、時間外勤務手当、管理職手当、通勤手当、住居手当、特殊勤務手当、子ども手当)、共済費
【意見や要望】	特になし 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	平成22年4月職員数 維持管理部門(2人) 下水道事業建設部門(10人) 給与12回、賞与2回	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		平成23年4月職員数 維持管理部門(2人) 下水道事業建設部門(10人) 給与12回、賞与2回
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 給与・賞与支払い回数		
→ イ:		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	下水道事業(維持管理部門)(建設部門)に要する職員	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア: 下水道事業(維持管理部門)(建設部門)に要する職員数 人
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	正確かつ適正に支給される。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア: 支払いが滞らなくなった件数の割合 %
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
給与及び賞与の支給回数は条例で定められているので、その回数を成果指標とはできない。正確に支給することは当然のことであるため、支払いが滞らなかった件数の割合は100%とした。		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	
① 活動指標	ア	回	0	0	14	14	14	14	14	
	イ									
② 対象指標	ア	人	0	0	12	12	12	12	12	
	イ									
③ 成果指標	ア	%	0	0	100	100	100	100	100	
	イ									
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円			31,360	14,746	15,419	26,450	26,450
		繰入金	千円				60,111		45,000	45,000
		一般財源	千円			49,213		61,892		
人件費	(A) 事業費計	千円	0	0	80,573	74,857	77,311	71,450	71,450	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	77,142	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	500	40	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	0	0	5	5	5	5	5	
人件費	延べ業務時間	時間	0	0	14	14	14	14	14	
	(B) 人件費計	千円	0	0	47	57	49	49	49	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	80,620	74,914	77,360	71,499	71,499	

総トータルコスト  
全体計画  
~ 年度  
  
(期間限定複数年度のみ記載)  
0

事務事業名	職員給与支給事務（下水道事業）	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（SEE）  
 ＊原則は22年度の事後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 班員で連携・協力し、給与12回、賞与2回の支払いは滞りなく行う。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 現状が効率的である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似する事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 適正に行われている。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人件費で行っているため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公平・公正に行われている。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市に所属する職員の給与支給事務である。

3 評価結果の総括（SEE） ＊事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

現状を維持する。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善）  <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善）  <input type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p> <p>現状を維持する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p> <p>現状を維持する。</p>																						